

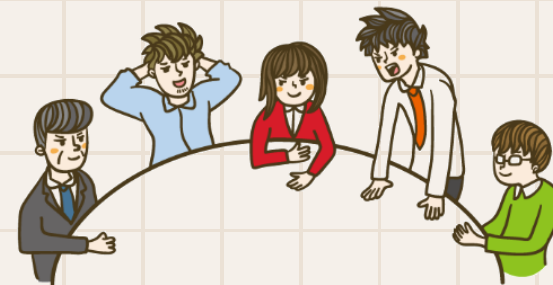
意見・質問・お困りごと



【丸山先生より：この1週間の変化】

- ◆ 広島県が県としてグーグルのアカウント30万件を確保
→強制的に「フェーズ0.x」から「フェーズ1.x」へ
- ◆ GW後の「学校差」「地域差」の拡大が懸念
→学校を徐々に開く地域と、引き続き閉鎖の地域…
→子どもたちの学習権をどう保障するか
→新たな日常の中で子どもたちの教育をどう作っていくか

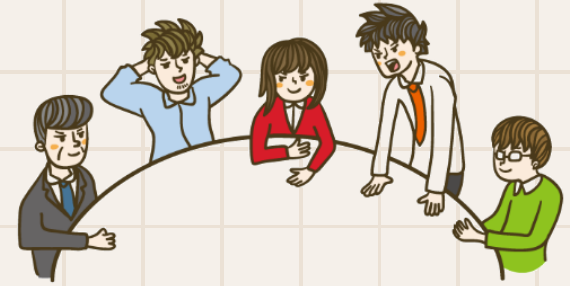
意見・質問・お困りごと



【森田先生より：事前アンケートの結果】

- ◆ 学校現場は「フェーズ0.x」が過半数
- ◆ 他の学校がどうしているか知りたい
 - 子どもたちがどう過ごしているのか？
 - どんな課題に取り組んでいるのか？
 - 著作権は？個別サポートは？

意見・質問・お困りごと



【今中先生より】

- ◆ 休校が延長になり遠隔授業を実施せざるを得ない
 - 目的は何なのか？何のためにオンライン化するのか？などを校内研修中
 - Google Classroomを活用，5%ほど入れない子どもをどうするか
 - 教科，総合，情報などでどう授業するか…

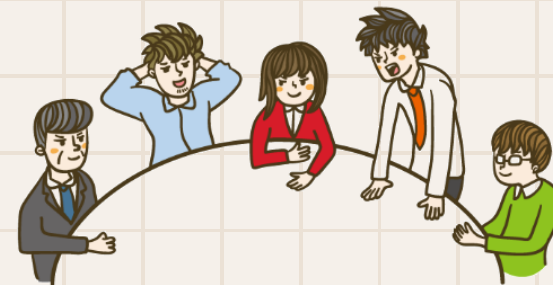
意見・質問・お困りごと



【中山先生より】

- ◆ オンラインのリアルタイム授業でのルールづくりと共有を
どうするか
→ 発言のタイミングや発表の仕方など

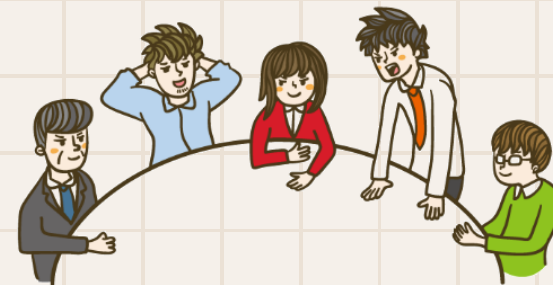
意見・質問・お困りごと



【さーちゃんさん（子ども支援）】

- ◆ 子どもたちにどのようなサポートの場を提供するか？
→特にセクシャルマイノリティなどの子どもたちの支援や居場所づくり
- ◆ 学校外の人間と協力して、オンラインで子どもの学習支援などをどうサポートするか？
- ◆ 「子どもを主語に、取り残される子がいない、どの子も人とのつながりをもちながら学び合える環境づくりを考えていきたいと思っています。」

意見・質問・お困りごと



【石川先生（3部制高校）】

- ◆ 学習の遅れより，子どもが学校とどうつながり続けるかが重要
 - 学校HPで教員によるブログ記事を発信している
- ◆ 9月卒業の生徒の単位認定や卒業をどうするか
 - （むねまさ先生）学校全体でグーグルアカウントを取得，「フェーズ2.x」段階。学校自体は3月から遠隔・オンライン授業に移行。評価はテストは難しいので，レポートや宿題で実施。子どもの顔を見せる／見せないのルールをどうする？

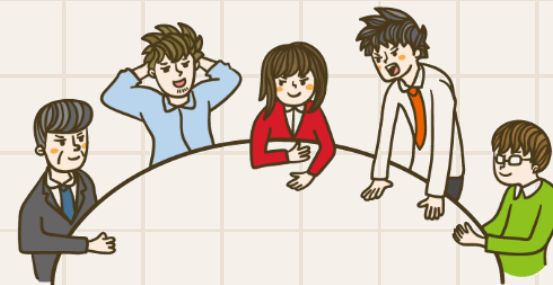
意見・質問・お困りごと



【高松尚平さん】

- ◆ 知り合いからもよくきいている話なのですが、学校段階が変わる小1・中1・高1の学年に関わられている先生方は、情報共有や生徒の現状把握にお悩みの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？そのような観点からお話しいただければと思います。

意見・質問・お困りごと



【相沢友紀先生（特別支援学校で知的障害・自閉症学級担当）】

◆ オンライン上で個別の子どもへの指導・教材・ケアをどうする？

→（川合先生）特別支援学校だとTT前提，教材教具も個別という環境でやってきたのに，オンラインではそれができないのは厳しい。ライブで授業をやるのと，あらかじめ動画を作成・配信するのを併用して，子どもの状況に応じて使い分けるという方法もあるかも。オンラインを活かし，一人の教員が複数の方法で授業・支援できる可能性もある。

→（川合先生）教材・教具を保護者に協力してもらって一緒に準備してもらうというのもいいかもしれない。子どもと保護者のコミュニケーションにもつながる。

→（吉田先生）今回のコロナ禍を契機に，教育の個別最適化が求められる状況。

→（tameさん）難しいですね…自閉症の子どもたちへの対応。音声苦手なため、オンラインが聞けないという子もいると思います。音声ではなく、最初に映像を見せることをなにがしかの形で保護者や本院へ伝え、映像を通した学習を試みるのはどうでしょうか。

意見・質問・お困りごと



【福田先生（熊本・教育委員会）】

- ◆ プランがどんどん変更する中で，かつ紙でのやりとり中心という環境に現場は困惑している
- ◆ 教員研修をどうするかが課題
 - （宅見先生）広島市は集合研修ができないため，資料配布で対応。ただ，協議を通して学びが深まる面があったため限界を感じている。電話での個別相談にどう対応するか，臨時休業後の対応などの要望・相談が来ている。
- ◆ 子どもたちの反応をどう組織化し，フィードバックしているかが課題。

意見・質問・お困りごと



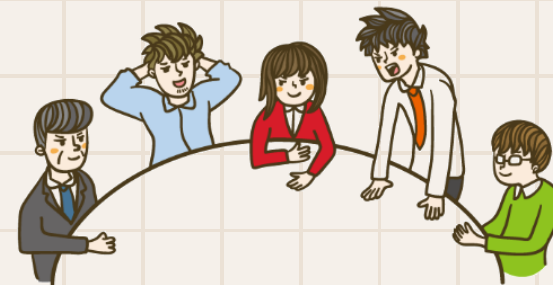
【内村先生（岡山・小学校）】

◆ 岡山は「フェーズ0.x」状態。eラーニングを進めていく状況（各自が県の学習システムにアクセスして学習）。フィードバックはできない状況なのでそこが課題。赤ペン先生でやるしかないかという状況。

→（吉田先生）子どもたちの自己評価能力が高まる，高めないといけない

◆ 「動画、ありがとうございます。私も前回の教科通信や課題案が大変参考になるなあと思いました。試行錯誤中です。」

意見・質問・お困りごと



【飯干先生（広島・小学校）】

◆ プリント学習でどのように形成的評価を行うか。プリントだけでできるのか。

→（吉田先生）教室では「まちがう子ども」を拾い上げて授業を展開していくことができるが、オンラインでは難しそうだ。

◆ プリント学習だけだと、子どもたちの学習観が乏しくなっていくことが心配。

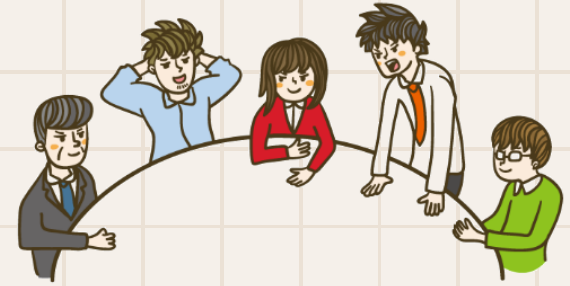
意見・質問・お困りごと



【草原より情報提供（EVRIからの挑戦状）】

◆（加筆お願いします）

意見・質問・お困りごと



【永田先生より情報提供】

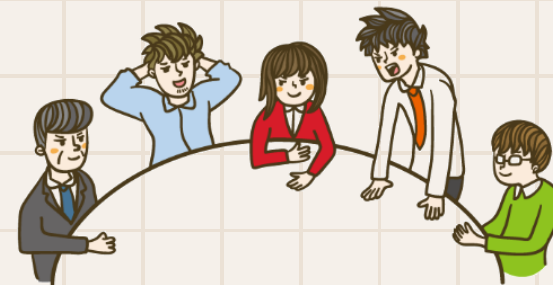
◆ 外国ルーツの子どもたちの支援をどうするか？

→オンラインは場所の制約がない。Zoomで全国各地の子どもと保護者をつないで、外国ルーツの子どもたちを学生が支援する活動を広大がやっている。

→保護者の支援の重要性。家庭と共にどうやってやっていくか。課題プリントが読めない。どういう言葉で課題を伝えていくかが重要になってくる。

→異文化間教育推進室主催のセミナーを実施予定。5/4の13時から。教育学部のHPでも案内予定。個別にメールして頂いても可能。

意見・質問・お困りごと



【三時先生】

- ◆ 子ども単体で見ると、学校の教材と企業などが提供するオンライン教材などを組み合わせて学んでいる。子どもたちの学びは重要化しているのかもしれない。子ども目線で見た学びの状況を意識した議論も重要ではないか。
- ◆ 「重層的な支援が行われることで、取り残される子どもたちが減っていくのだと思います。情報を子どもたちや家庭にどう届けていくかが大事だなと思いました。」

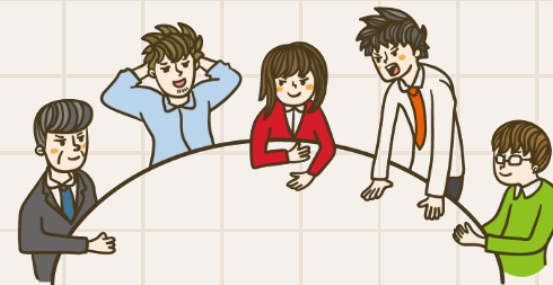
意見・質問・お困りごと



【三好先生より情報提供（著作権についての扱いの紹介）】

◆（加筆お願いします）

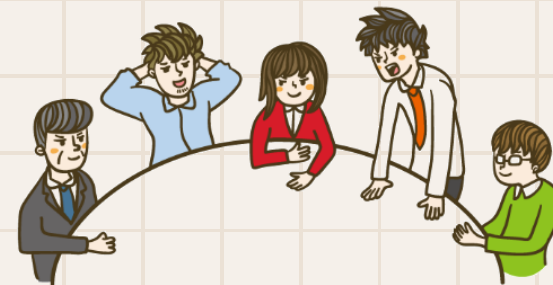
意見・質問・お困りごと



【丸山先生より総括コメント】

- ◆ これからさらに状況が変わっていく。それに合わせて5月中旬と5月末にオンラインセミナーを開催予定。
- ◆ 先生方の負担が心配。オンライン教材の作成は負担。NHKや民間の教材など、使えるものは使う。他の学校や先生たちとノウハウを共有しよう。
- ◆ 外せないものは子ども一人ひとりの状況の確認とケア。電話やLINE等でも構わないので、子ども、そして不安に思っている保護者と連絡をとることが大切では。

意見・質問・お困りごと



【草原・吉田まとめ】

- ◆ 次回は5・16土曜日 5・30土曜日に実施予定。テーマは「いま何やっていますか？」というオンライン授業研究会を学校種に分けて実施予定。実践や悩みをぜひ紹介してほしい。
- ◆ このオンラインの場で情報共有や交流ができればいい。

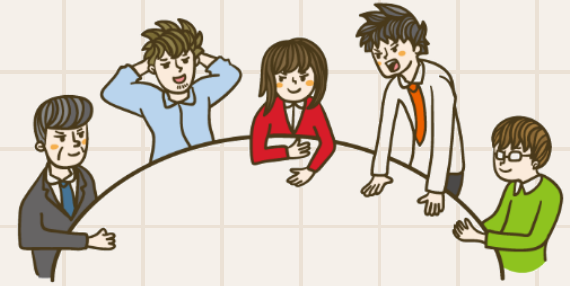
チャットで出た意見等



【千里国際の宗正先生】

- ◆ 先ほど発言した千里国際の宗正です。反省点として申し上げた、ルール作りとして、「最低限のルール」という風にしておく方がいいのかなとは思っています。ガチガチにしてしまうと、生徒も教員も疲れてしまいます。例えば、オンラインでつなぐ際は顔見せしよう、飲み物はOKとか。あとは、本校は今、教員も自宅勤務を命じられていますので、教員同士の問題や苦労、成功の共有というのが難しい状態です。教員側もいろんなことを共有できる場所を作っておくと組織的にも精神的にも安定すると思います。昨日は、私の所属する社会科でオンライン飲み会をしましたが、そんな中で、ある程度お互いの状況を把握できました。ご参考までに。

チャットで出た意見等



【田伏崇弘先生】

- ◆ こないだZOOM会議を学校間（11校）でやりました。やり方を説明して、何が便利、とICTへの理解を求めていくのは意外にできるもんなんだな、とは思いました。

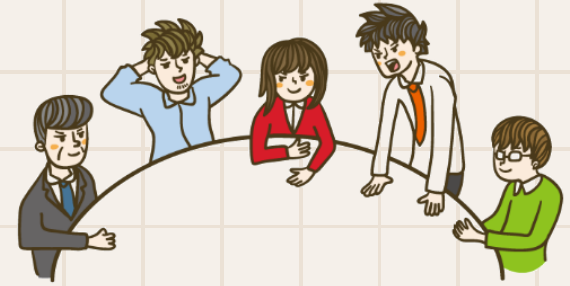
チャットで出た意見等



【相沢先生】

- ◆ 先ほど自閉症児にたいする教育のことで発言した相沢友紀です。ご意見ご助言ありがとうございました。tameさんがチャットで書かれたようにCD音やPCから出てくる音を非常に嫌がる児童もいるのでそこは注意すべき点だと気づかされました。また、個別学習に関してはむしろチャンスですよ。幸い、東京都は一人一台PC貸与されており、オンラインで会議が自宅でもできるのでテレ学年会等で意見を出したいと思っています。

チャットで出た意見等



【Tameさん】

◆ 強制的にyoutubeを通して動画配信を行っていますが…やはり本数が多くなると整理が大変かな…という感じです。オンライン配信も行おうと予定していますが、各家庭のWi-Fiの関係で授業前の号令、指示を出して、あとは動画授業をみるとか、ロイロを使ったりして授業を行おうとしています。

チャットで出た意見等

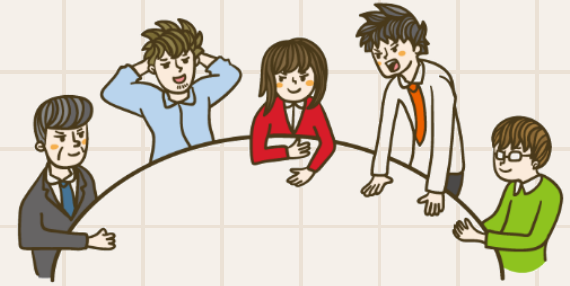


【Tameさん】

◆ あと自閉症の子を持つ親御さんがどこまでサポートできるか…という課題もあるかと思います。中国新聞の「こちら編集局～」という記事にありましたが、低年齢になるほど、子どもに対する対応で苦慮されている親御さんが多くいることを知りました。やはりオンラインを行うといっても、誰かがサポートしてあげる対応も必要と思います。

→Yuki Aizawa：おっしゃるとおりです。喫緊の課題だと思います。

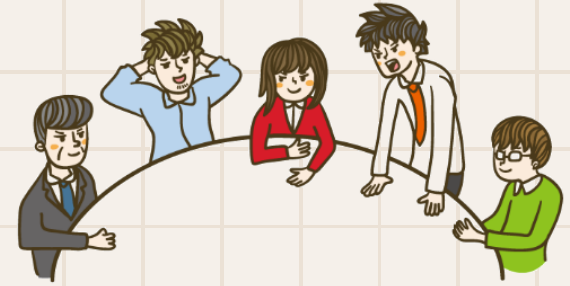
チャットで出た意見等



【中山 佳奈子先生】

- ◆ 環境的な課題についての質問です。生徒がデバイスを持っても家庭にWiFi環境がなく、自分の携帯のギガを使わなければならないケースはどのように対応されていますか？
 - tame：うちの学校では、ロイロを使っていますが…そういうことができない場合は、PDFで課題を送るということも可能性としてあります。
 - 三時眞貴子：各携帯会社が、若者向けに無料で大幅なギガが使えるようなプランを出しているので、そうしたものを利用するよう家庭に伝えることもできるかなと思います。
 - Yuna Ishibashi：福岡県の公立高校で勤務しております。現在は希望生の講座という形で取り急ぎオンライン学習を行なっている段階ですが、自宅のWiFi環境が整っていない生徒には今後PC教室を開放して使用させる等の案が出てきています。また、県の方ではポケットWiFiの貸し出しがけんとうされているようです

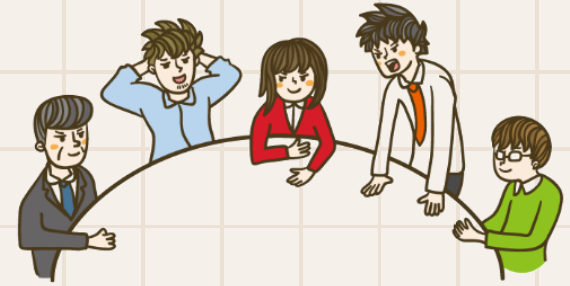
チャットで出た意見等



【中山 佳奈子先生】

- ◆ ありがとうございます。専門的でない情報や通信に関する知識があるとサクサク進けれども、知識がないと次から次への課題が生じている状況です。先生方の実践やルールを具体的に教えていただけて大変助かります。校内で課題や活用事例アイデアをデータ化していこうとしています。これが校内だけでなく県、全国レベルで共有できるサイトがあれば知りたいです。

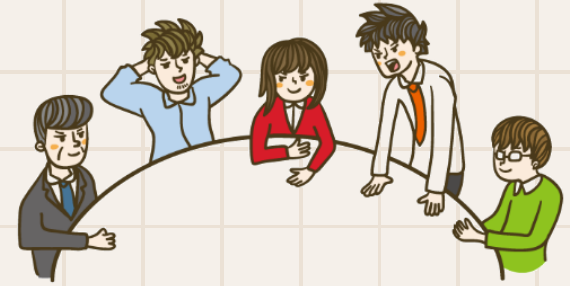
チャットで出た意見等



【morita先生】

- ◆ 広島の公立高校に勤務しています。99.9%の生徒はスマホを持っているので、live授業は可能だと感じています。しかし、中山さんがおっしゃるようにギガの問題がネックになります。携帯大手のプランはあるのですが、行政の支援は今後あるのかが最も気になるところです。90%程度の生徒は自宅のwi-fiを使うので、ギガの心配ありません。しかし10%の生徒に合わせるために、進度を遅らせるという方法しかないのがもどかしいところです。情報教室を開放する案も出ているのですが、通学に公共交通機関を使う生徒などもあるので、難しいところです。

チャットで出た意見等



【tameさんほか】

- ◆ 福田 恒臣：子供は、何を要求しているのでしょうか？
- ◆ tame：授業もそうですが、やはりつながり、コミュニケーションではないでしょうか？
- ◆ tame：自粛中の悩みや言いたいことを聞いてもらいたいという意見もきいています。

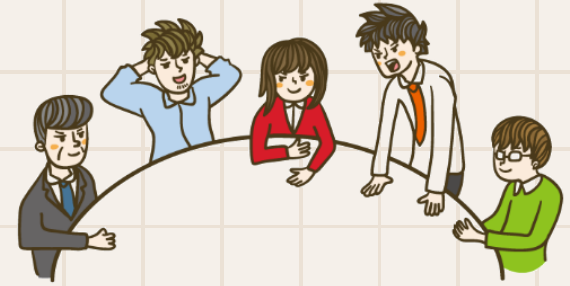
チャットで出た意見等



【中山 佳奈子先生】

- ◆ ICT機器の導入や校内にWiFi環境が整備されている、されていない学校で差がついています。ICT機器の普及がいわれ始めた際も個人が私財を投げ打ってスタートした流れがありましたが、今回も学校の学校のオンライン環境ではzoomは繋がらないなど、個人の機材を持っていればスムーズに流れに乗れるような感覚があります。教員も生徒も環境によって学びに格差が出ないように行政の支援がより充実することを切に願います。
- ◆ 先日教科書会社に付属のワークブックについて共有は不可かどうかの確認をしたところ、教科書に掲載されている写真について著作権の扱いが難しい点があると伺いました。これはどうなるのでしょうか？

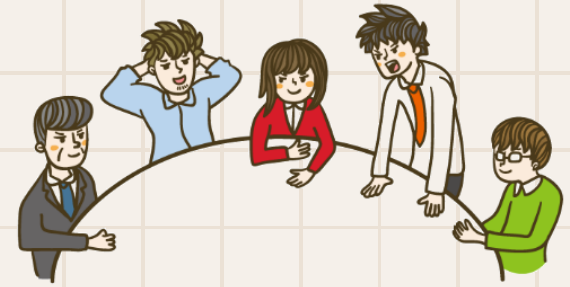
チャットで出た意見等



【中山 佳奈子先生】

- ◆ 先日教科書会社に付属のワークブックについて共有は不可かどうかの確認をしたところ、教科書に掲載されている写真について著作権の扱いが難しい点があると伺いました。これはどうなるのでしょうか？
- ◆ tame : 今は緩和されているかもしれませんが、地歴公民はなかなか著作権に触れて難しかったです。

チャットで出た意見等



【中山 佳奈子先生】

- ◆ 私は、オンライン授業や教員による動画作成に注視されていますが、例えばスタディサプリやクラッシーなどの業者が動画を作成教材を出しているものの購入を生徒に提案し、生徒が動画を見ても理解できない、間違えたところなどに教員が入り生徒の学びを支援することに力を入れる方法を提案しました。素人が作成に時間をかけてしまうよりも、生徒の学びに対するフィードバック、関わりに時間をかけることが大切なのではないかと思っています。
- ◆ Miori Miyoshi: 「教師と児童・生徒など」の間で、「授業を目的」として、「著作物の小部分の利用（短歌や写真などは全体の利用が可能）」をすることができるとされています。一方で、生徒購入用のドリルや書籍の大部分などの配信はNGとされています。SATRASがワンストップで著作権を管理することとなっています。